

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)  
2014年11月 相談集計報告

## ○全体の特徴

■前年同月と比べ、全体の件数は減少したものの、1ヵ月で1,000件以上の労働相談を全国で受け付けている。前年同月に比べ、女性からの相談が2.9ポイント増加した。

■相談内容では、「解雇・退職強要・契約打ち」10.9%が最も多く、次いで「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」9.6%、「雇用契約・就業規則」7.4%となっている。業種別では、「サービス業」15.8%が最も多く、次いで「医療・福祉」15.1%、「製造業」13.8%となっている。

■「アルバイトとして働いているが、経営状態が悪いから辞めてほしいと言われ、困っている」「パートとして週4～5日働いているが、会社から人件費削減のため勤務を週1日にして欲しいと言われた」など正社員以外の労働者から、会社の経営状態を理由とした退職強要、勤務日数の削減に関する相談が寄せられた。

		2014年		2013年			
集計対象期間		11月1日～11月30日		11月1日～11月30日			
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		1,057		1,220			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	569	54.7%	男性	684	57.6%	
	女性	471	45.3%	女性	503	42.4%	
年代 (不明除く)	10代	9	1.1%	10代	6	0.7%	
	20代	111	13.3%	20代	124	13.7%	
	30代	188	22.6%	30代	205	22.7%	
	40代	283	34.0%	40代	287	31.8%	
	50代	153	18.4%	50代	179	19.8%	
	60代	76	9.1%	60代	87	9.6%	
	70代	13	1.6%	70代	14	1.6%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	504	50.9%	正社員	549	48.6%	
	パート	161	16.2%	パート	200	17.7%	
	アルバイト	59	6.0%	アルバイト	78	6.9%	
	派遣社員	60	6.1%	派遣社員	62	5.5%	
	契約社員	82	8.3%	契約社員	113	10.0%	
	嘱託社員	13	1.3%	嘱託社員	9	0.8%	
	臨時・非常勤職員※ その他	10 102	1.0% 10.3%				
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	111	15.8%	製造業	153	16.9%
	2位	医療・福祉	106	15.1%	サービス業	139	15.4%
	3位	製造業	97	13.8%	医療・福祉	119	13.2%
	4位	卸売・小売業	96	13.7%	卸売・小売業	113	12.5%
	5位	運輸業	77	11.0%	運輸業	80	8.9%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	解雇・退職強要・契約打ち	115	10.9%	解雇・退職強要・契約打ち	128	10.5%
	2位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ※	101	9.6%	セクハラ・嫌がらせ	114	9.3%
	3位	雇用契約・就業規則	78	7.4%	賃金未払い	95	7.8%
	4位	不払い残業・休日手当・割増賃金未払	75	7.1%	不払い残業・休日手当・割増賃金未払い	93	7.6%
	5位	退職金・退職手続	63	6.0%	就業規則・雇用契約	86	7.1%

※の部分、6月から表記を変更しました。